Cool X Wallet に関するご説明

（旧 VCTRADE）

この書面には、SBIVC トレード株式会社（以下「SBIVC」といいます。）及び株式会社 SBI BITS（以下「SBIBITS」といいます。）がお客様にご提供する Cool X Wallet サービス（以下「CXW サービス」といいます。）をご利用いただくうえでの留意点が記載されています。あらかじめよくお読みください。

また、特に、以下の点にもご留意ください。

- **SBIBITS は、SBI グループの登録暗号資産交換業者である SBIVC トレード株式会社とは別の法人です。**

- **Cool X Wallet そのもの、及び、お客様が Cool X Wallet で管理される暗号資産の管理責任はお客様にあり、SBIVC 及び SBIBITS は、それらについて管理責任を負いません。なお、SBIVC は、Cool X Wallet に係るシードの管理責任を負い、SBIBITS は、かかるシードの暗号情報の管理責任を負います。**

- **CXW サービスの対価は総額で７，９２０円（税込）です。かかる対価は２４か月の分割払いとなります。**

- **TaoTao 株式会社及び SBI VC トレード株式会社の合併の効力発生日である 2021 年 12 月 1 日以前から、SBI VC トレード株式会社の名でインターネットを通じて提供しているサービスである旧 VCTRADE サービスをご利用のお客様のみ CXW サービスをお使い頂けます。**

なお、詳細な契約条件については、Cool X Wallet サービス約款をご確認ください。

２０２１年１２月

SBIVC トレード株式会社

株式会社 SBI BITS

各社の概要

SBIVC の概要

商号：　SBI VC トレード株式会社

本店所在地：　〒106-6021 東京都港区六本木 1-6-1

主な事業：　暗号資産交換業、第一種金融商品取引業

登録番号：　関東財務局長第 00011 号、関東財務局長（金商）第 3247 号

設立年月：　2017 年 5 月 26 日

資本金：　金 12 億 6,000 万円（2021 年 12 月 1 日現在）

加入協会：　一般社団法人日本暗号資産取引業協会

SBIBITS の概要

商号：　株式会社 SBI BITS

本店所在地：　〒106-0032 東京都港区六本木 3-1-1

主な事業：　情報通信機器及びコンピュータソフトウェアの設計、開発、運用、販売、保守管理、監査及びリース業務等

設立年月：　2015 年 7 月 21 日

資本金：　金 1 億円（2018 年 10 月 31 日現在）

連絡先：　SBIVC カスタマーセンター（03-6779-5110）までご連絡ください。
受付時間は、年末年始を除く平日午前 9 時から午後 5 時までです。

CXW サービス約款のご説明

本書は、お客様、SBIVC トレード株式会社（以下「SBIVC」といいます。）と株式会社 SBI BITS（以下「SBIBITS」といいます。）の間の CXW サービス約款の内容のうち重要な事項をご説明するために、SBIVC 及び SBIBIT からお客様宛に作成された書面です。なお、以下では、ハードウェアウォレットの実物としての Cool X Wallet を「CXW」といいます。

１．　CXW サービスの概要

CXW サービスは、以下の３つのサービスから構成されます。

① SBIVC からお客様への CXW の貸与サービス

② SBIVC による CXW に格納された秘密鍵のシードの管理サービス

③ SBIBITS による上記②のシードの暗号情報の管理サービス

④ SBIVC 及び SBIBITS によるお客様が CXW を紛失された場合に、シードを利用して秘密鍵を再製し、CXW に格納された秘密鍵で管理していた暗号資産（以下「CXW 暗号資産」といいます。）を、新たな CXW に移転するサービス

２．　CXW サービスの期間と対価

CXW サービスの期間は、CXW をお客様がお手元に届いた日の属する月の翌月１日から起算して２４か月となります。CXW サービスの対価は、７，９２０円（税込）です。CXW サービスの期間である２４か月にわたって、毎月３３０円（税込）の分割払いの方法でお支払いいただきます。

３．　CXW で管理する暗号資産の数量等について

SBIVC 及び SBIBITS の損害賠償額は、SBIVC 及び SBIBITS が賠償する損害額の合計につき、１千万円に限定されます。このため、CXW にて管理される暗号資産は一時保有かつ少額に限定し、長期保有又は多額の暗号資産は SBIVC などの登録暗号資産交換業者にて管理されることをお勧めします。

４．　CXW の管理及び CXW に格納された秘密鍵の管理責任はお客様にあること

CXW に格納された秘密鍵は、お客様が、SBIVC 及び SBIBITS の関与なく、自由にご利用いただけます。なお、CXW の所有権は SBIVC に帰属します。このため、CXW サービス約款に違反して、お客様が CXW を第三者に売却等された場合は、SBIVC が所有権に基づき、その第三者に返還請求などを行うことになります。

５．　CXW に係る暗号資産の管理責任はお客様にあること

SBIVC は、CXW に格納された秘密鍵のシードを管理します。SBIBITS は、かかるシードの暗号

情報を管理します。このため、SBIVC 及び SBIBITS は、CXW 暗号資産の預託を受けるものではありません。かかる暗号資産は、お客様が管理するものとなります。SBIVC による暗号資産の管理を希望される場合は、同社に、お客様が開設された口座に暗号資産を入庫していただくようお願いいたします。

ただし、CWX サービスのうち、上記１④のサービスにおいて秘密鍵が再製された場合に限り、SBIVC が CXW 暗号資産を、SBIVC が秘密鍵を管理するアドレスにおいてお預かりすることがあります。この SBIVC によるお客様のための暗号資産のお預かりは、資金決済に関する法律第 2 条第 7 項第 4 号所定の「他人のために暗号資産の管理」に該当します。お客様が CXW 暗号資産を SBIVC にお預けいただくうえでのリスクや留意点については、後記「Cool X Wallet ご利用上の注意事項」及び「暗号資産預託に係るご注意」をご確認ください。

６．　暗号資産の回復にあたっての留意点

CXW サービスのうち、上記１③のサービスをご利用いただく際は、改めて CXW サービスをお申込みいただく必要があり、追加費用をご負担いただくことになります。

なお、詳細な契約条件については、Cool X Wallet サービス約款をご確認ください。

Cool X Wallet ご利用上の注意事項

本書は、お客様、SBIVC トレード株式会社（以下「SBIVC」といいます。）と株式会社 SBI BITS（以下「SBIBITS」といいます。）の間の CXW サービス約款に基づいて CXW サービスを利用されるうえでの注意事項をご説明するために、SBIVC 及び SBIBITS からお客様宛に作成された書面です。なお、以下でも、ハードウェアウォレットの実物としての Cool X Wallet を「CXW」といいます。

１．CXW で管理する暗号資産の数量等

後記２から６までで説明するように、CXW にて暗号資産を管理することにはリスクが存在します。また、CXW サービス約款において、SBIVC 及び SBIBITS が賠償する損害額の合計については、１千万円に限定されます。このため、CXW にて管理される暗号資産は一時保有かつ少額に限定し、長期保有又は多額の暗号資産は SBIVC などの登録暗号資産交換業者にて管理されることをお勧めします。

２．CXW の管理

CXW は、お客様が管理する暗号資産を第三者に送付するために必要となる機械です。このため、

お客様以外の第三者に占有を移転しないでください。また、厳重に管理していただくようお願いいたします。CXW を紛失し、盗難等されたことによってお客様が被った損害を SBIVC 及び SBIBITS は賠償する責任を負担しません。

3．ユニークペアリングコードの管理

ユニークペアリングコードは、CXW をお客様以外の第三者が使用できないようにするためのコードのひとつとなっております。このため、お客様以外の第三者と共有しないでください。ユニークペアリングコードを第三者に知られたことによってお客様が被った損害を SBIVC 及び SBIBITS は賠償する責任を負担しません。

4．サイバー攻撃による暗号資産の消失・価値減少リスク

ハッキング等のサイバー攻撃を通じて、SBIVC 及び SBIBITS がお客様からお預りしている CXW のシード又はシードを使って再製するお客様の CXW の秘密鍵を第三者に知られた場合、その CXW に係るアドレスに記録されているお客様の暗号資産が不正流出する可能性があります。SBIVC 及び SBIBITS の財政状態次第では、かかる流出に伴うお客様の損害を賠償することができない可能性があります。

また、CWX サービスのうち、CXW 暗号資産の回復サービスにおいて秘密鍵が再製された場合に限り、SBIVC が CXW 暗号資産を、SBIVC が秘密鍵を管理するアドレスにおいてお預かりすることがあります。この場合において、ハッキング等のサイバー攻撃を通じて、SBIVC がお客様からお預りしている暗号資産を記録しているウォレットのシード又は秘密鍵を第三者に知られたときも、そのシード又は秘密鍵に係る暗号資産が不正流出する可能性があります。SBIVC の財政状態次第では、かかる流出に伴うお客様の損失を補てんすることができない可能性があります。

5．シードを紛失等するリスク及び秘密鍵の紛失に係るリスク

SBIVC 及び SBIBITS がお客様からお預りしているシード又はシードの暗号情報を紛失等し、かつ、お客様が CXW を紛失等した場合、そのウォレットに記録されている暗号資産を外部に送付できなくなり、結果として、お客様の暗号資産の価値が喪失されるリスクがあります。SBIVC 及び SBIBITS の財政状態次第では、かかる流出に伴うお客様の損害を賠償することができない可能性があります。

また、CWX サービスのうち、CXW 暗号資産の回復サービスにおいて秘密鍵が再製された場合に限り、SBIVC が CXW 暗号資産を、SBIVC が秘密鍵を管理するアドレスにおいてお預かりします。この場合、かかる秘密鍵を SBIVC が紛失することにより、その秘密鍵により管理されている暗号資産を外部に送付できなくなり、結果として、お預りしている暗号資産の価値が喪失するリスクがあります。

６．暗号資産の回復のために時間が必要であること

CXW サービス約款に基づいて暗号資産の回復をお申込みいただいた場合、新しいウォレットのお届け、SBIBITS が管理するシードの暗号情報を利用し、SBIVC が行うシードからの秘密鍵の再製、及び暗号資産の新しいウォレットへの移転のために、相当期間をいただく可能性があります。かかる期間中の暗号資産の価格変動その他の事情により、お客様が損失を被る可能性があります。なお、この結果お客様が被った損失について、SBIVC は責任を負いません。

７．CXW の利用環境

CXW サービスはスマートフォンアプリを利用したサービスのため、フィーチャーフォン（俗にいうガラケー）、タブレットではご利用することができません。

８．CXW の対応暗号資産

CXW の対応している暗号資産は、エックスアールピー、ビットコイン、ビットコインキャッシュ、及びイーサリアムです。それ以外の暗号資産には対応しておりません。

９．暗号資産は、本邦通貨及び外国通貨とは異なります。

CXW で管理する暗号資産は、本邦通貨又は外国通貨ではありません。また、特定の国家又は特定の者によりその価値が保証されているものではありません。このような性質から、SBIVC の取り扱う暗号資産を代価の弁済のために利用するためには、弁済を受ける者の同意が必要となります。

１０．価格変動リスク

暗号資産の価格は、その暗号資産の需給、暗号資産市場全体の需給、法定通貨及び金融商品市場の動向等により価格が変動します。また、暗号資産に関する法規制はまだ定まっておらず、規制当局及び規制の動向も価格の変動を引き起こす可能性があります。このような価格変動の結果、暗号資産の価格が下落し、損失を被る可能性があります。最悪の場合は、暗号資産の価値がゼロとなる可能性もあります。

１１．　暗号資産の発行者又は管理者等の破たんによるリスク

暗号資産の発行者や管理者等の破たん又は当該暗号資産の移転等の仕組みを支えるコミュニティの崩壊等により、暗号資産の消失や価値の減少、暗号資産の移転が不可能となるといった事態が生じる可能性があります。また、これらの要因やその他の理由等に起因し、最悪の場合は、暗号資産の価値がゼロとなる可能性もあります。

１２．需給の不足に伴うリスク

暗号資産は一般的に、法定通貨と比較して流動性の面で劣ります。このことに起因して、お客様の望むタイミング及び数量における売買に関して、需給のバランス次第で取引可能な量が十分でないことにより、円滑な売買が実現しない可能性があります。

１３．国・地域における規制が行われるリスク

特定の国及び地域においては、暗号資産の売買及び保有が法律等で禁止されている場合があります。そのことを原因として、その国及び地域における暗号資産の売買及び保有が著しく困難若しくは不可能となる可能性があります。その結果、暗号資産の需要が細り、価格が下落する可能性があります。

１４．システム障害に伴うリスク

SBIVC は、災害、公衆回線の通信障害、暗号資産の価値移転記録の仕組みにおける記録処理の遅延、その他の SBIVC 及び SBIBITS が管理できない事情により生じたお客様の逸失利益について責任を負いません。このため、かかる逸失利益を喪失するリスクがあります。

１５．特定の暗号資産の取引が困難となるリスク

地震や洪水といった天変地異、戦争、テロ、政変・法律の改正、規制強化、暗号資産事情の急変など、特殊な状況下で特定の暗号資産の取引が困難又は不可能となる可能性があります。

１６．決済完了性がないリスク

CXW が対応している暗号資産のうちビットコイン、ビットコインキャッシュ及びイーサリアムについては、確定的に取引が成立したといえる仕組みがないことから、取引が遡って無効になるリスクがあります。

１７．ハードフォークによる分岐リスク

CXW が対応している暗号資産のうちビットコイン、ビットコインキャッシュ及びイーサリアムについては、ハードフォーク（不可逆的な仕様変更）により暗号資産が 2 つに分岐し、相互に互換性がなくなるリスクがあります。その場合、大幅な価値下落や取引が遡って無効になるリスクがあります。また、ハードフォークの結果、発生する新規コインについては、CXW は対応できません。

１８．51%攻撃リスク

CXW が対応している暗号資産のうちビットコイン、ビットコインキャッシュ及びイーサリアム

については、悪意ある者がハッシュレート（マイナーの計算力）全体の 51%以上を有した場合、不正な取引を意図的に配信するリスクがあります。

１９．バリデーターのリスク

CXW が対応している暗号資産のうちエックスアールピーについては、信頼するバリデーターが意に反して結託した場合、台帳とデータを改ざんされる可能性があります。

２０．ソフトウェア不具合のリスク

CXW が対応している暗号資産のうちエックスアールピーについては、ソフトウェアの新しいバージョンがアップデートされる前に入念な検証を行っており不具合の可能性を最小化しています。しかし、ソフトウェアの不具合が問題を引き起こす可能性は否定できません。

２１．SBIVC の破たんによるリスク

CWX サービスのうち、CXW 暗号資産の回復サービスにおいて秘密鍵が再製された場合に限り、SBIVC が CXW 暗号資産を、SBIVC が秘密鍵を管理するアドレスにおいてお預かりすることがあります。SBIVC は、お客様からお預かりしている暗号資産を SBIVC 保有の暗号資産と明確に区分して管理しています。しかし、万が一、SBIVC が倒産したケースにおいては、SBIVC の債務を SBIVC の固有財産で完済できない場合、お客様からお預りしている暗号資産を当該債務の弁済に充てる結果となり、お客様が SBIVC に預託した暗号資産の全部または一部の返還を受けられない可能性があります。

２２．その他のリスク

暗号資産（そのウォレットを含みます。）は発展途上であり、日々、その基盤となる技術の開発・改良が進められています。その過程で、現時点では、予測できない脆弱性などが発見され、暗号資産の資産価値を脅かすリスクとして顕在化する可能性は否定できません。また、ハードウェアウォレットについて現時点では予測できない脆弱性などが発見され、暗号資産が不正流出等する可能性を否定できません。このため上述したリスク以外にも、今後、リスクは生起し得ることにご留意ください。

以上

暗号資産預託取引に係るご注意

本書には、CXW サービスのうち、CXW 暗号資産の回復サービスにおいてお客様が CXW 暗号資産を SBIVC トレード株式会社（以下「SBIVC」といいます。）にお預けいただくうえでのリスクや留意点が記載されています。あらかじめよくお読みいただき、ご不明な点は、お取引開始前にご確認ください。本書は、暗号資産交換業者に関する内閣府令第 21 条及び第 22 条の規定により提供するものです。

１．暗号資産の性質等に関する事項

（１）　暗号資産の性質に関する基本的事項

暗号資産は、本邦通貨及び外国通貨とは異なります。SBIVC の取り扱う暗号資産は、本邦通貨または外国通貨ではありません。また、特定の国家または特定の者 によりその価値が保証されているものではありません。このような性質から、SBIVC の取り扱う暗号資産 を代価の弁済のために利用するためには、弁済を受ける者の同意が必要となります。

（２）　取り扱う暗号資産の概要及び特性、その他暗号資産の性質に関し参考になると認められる事項

SBIVC が CXW サービスとの関係で、取り扱う暗号資産は、ビットコイン、エックスアールピー、イーサリアム及びビットコインキャッシュです。これらの暗号資産の概要、特性その他暗号資産の性質に関し参考になると認められる事項は、「取扱暗号資産の概要」をご確認ください。

２．お客様に対する情報の提供

（１）　お取引の内容

SBIVC は、CXW サービスのうち、CXW 暗号資産の回復サービスにおいて、お客様からのご依頼に基づき秘密鍵が再製された場合には、CXW アドレスに記録されたお客様の暗号資産を、SBIVC が秘密鍵を管理するアドレスにおいてお預かりします。この SBIVC によるお客様のための暗号資産のお預かり（以下「暗号資産預託取引」といいます）は、資金決済に関する法律第 2 条第 7 項第 4 号所定の「他人のために暗号資産の管理」に該当します。

（２）　リスクのご説明

お客様は、SBIVC の取り扱う暗号資産の価値の変動を直接の原因として損失を被る可能性がありますので、取引にあたってはご注意ください。また、お客様は、SBIVC の業務又は財産の状況の変化を直接の原因として損失を被る可能性もございます。SBIVC の取り扱う暗号資産の暗号資産預託取引にあたっては、その他にも注意を要する点があります。詳しくは、「Cool X Wallet ご利用上の注意事項」をご確認ください。

（３）　分別管理の状況

お客様より CXW サービスの過程でお預りする暗号資産は、資金決済に関する法律の定めに基づき、以下の通り管理を行っています。

- SBIVC が自ら管理するものとし、第三者への管理の委託は行いません。
- SBIVC が管理する利用者の暗号資産は、SBIVC の暗号資産とは明確に分別し、かつ、それぞれのお客様が保有する暗号資産であるかが直ちに判別できる状態（当該利用者の暗号資産に係る各利用者の数量が自己の帳簿により直ちに判別できる状態）で管理いたします。

（４） 履行保証暗号資産の管理

SBIVC は、お客様からお預かりした暗号資産を SBIVC が秘密鍵を管理するウォレットで管理しております。

保管形態は、次の 2 種類があります。

１）インターネット等の外部のネットワークに接続されていないコールドウォレットによる保管

２）インターネット等の外部のネットワークに接続されているホットウォレットによる保管

SBIVC は、お客様の暗号資産を流出等からの被害を防止するため、定期的にホットウォレットの残高をコールドウォレットへ移動します。

本運用により、原則、お預かりした暗号資産は、コールドウォレットにて保管されることになります。

なお、お預かりしている暗号資産の円評価額の 5%を上限にホットウォレットで保管できるものとしております。 ホットウォレットで管理する場合、SBIVC がコールドウォレットで管理する SBIVC 固有財産の範囲内でお客様の残高と同種・同量分の暗号資産（以下「履行保証暗号資産」といいます。）を保有するものとし、また、これについては自己の暗号資産と区分して管理します。

（５） 手数料など諸費用

暗号資産取引に関連して、お客様からいただく手数料等は、ございません。なお、CXW サービスの過程で、SBIVC が秘密鍵を管理するアドレスから、お客様が秘密鍵を管理するアドレスに再製した暗号資産を移転する際の費用等（トランザクション・フィーなど）は、お客様にご負担いただきます。また、CXW サービスに関連していただく手数料等は、CXW サービス約款等をご確認ください。

（６） お客様からの苦情等

お客様からのご相談の窓口、苦情処理措置・紛争処理措置については、「暗号資産の売買等に関するご説明（契約締結前交付書面）」の「11.苦情処理措置等」をご確認ください。

（７）　ハードフォークに係る対応方針

SBIVC の取り扱い暗号資産に係るブロックチェーンについて、プロトコルの後方互換性・前方互換性のない大規模なアップデート（以下、「ハードフォーク」という。）の実行が見込まれる場合及び当該ハードフォークにより新しい別個の暗号資産（以下、「新コイン」という。）が生じる場合の取り扱いは、以下の方針により実施します。

1.　大規模な分岐の発生に係る情報の利用者への伝達方法

SBIVC ウェブサイトで公表します。

2.　大規模な分岐の発生時の対応方針

①　業務の一時停止措置の有無

ハードフォークが生じた場合は当該暗号資産の入出庫、取引を一時的に停止する場合があります。

②　業務の一時停止措置を講ずる場合の判断基準

ハードフォークによりお客様の資産の保全及びお客様との取引の履行に何らかの支障が生ずるおそれがある場合には、ハードフォークの発生に備えてあらかじめ業務を一時停止するなど、お客様資産の保全及びお客様との取引を確実に履行するために必要な措置を講じます。

③　業務の一時停止措置を解除する場合の判断基準

原則として、上記②の状態が解消されたと判断された場合に解除します。

④　業務の一時停止及び停止を解除する場合の利用者への連絡方法

SBIVC ウェブサイトで公表することにより、周知します。また、必要に応じて個別メール等により周知することがあります。

⑤　業務の一時停止時及び再開時における利用者における注意事項

ハードフォークの発生に伴い行った業務の一時停止期間中に生じた当該暗号資産の価格変動による利用者の損失については、SBIVC は一切責任を負いません。

3.　分岐に伴い新コインが発生した場合の対応方針

ハードフォークが生じた場合は、原則として、新コインに相当する金銭を交付します。ただし、新コインの流動性、新コインが不正・違法な行為を誘引する可能性の有無・程度など、新コインに係る事情に照らし、SBIVC の判断により、新コインに相当する金銭の交付を実施しない場合があります。

①　新コインに相当する金銭を交付の方針

新コインに相当する金銭の額は、当該新コインの取り扱い暗号資産交換業者等の公表する価格等に基づき SBIVC の算出した価格により換金するものとします。また、新コインに相当する金銭の交付の対象となる利用者は、ハードフォーク発生時に SBIVC の保護預かり口座※でハードフォークの対象となった暗号資産を管理してい

るお客様に限ります。

※SBIVC 指定のハードウェア・ウォレット（Cool X Wallet）でお客様が管理する暗号資産は、お客様の責任で管理されているものですので、対象となりません。

② 新コインに相当する金銭の交付の連絡方法

SBIVC は新コインに相当する金銭の交付を行った場合は、SBIVC ウェブサイトで公表します。

③ 新コインの交付について

SBIVC は、新コインに相当する金銭に代えて、新コインをお客様に交付することがあります。資金決済に関する法律及び一般社団法人日本暗号資産取引業協会の規則における、新しい暗号資産を取り扱うための手続きを履践するためには、相当期間を要するため、新コインに相当する金銭のお客様への交付を原則としております。なお、新コインを SBIVC が取り扱う場合であっても、SBIVC の判断で、正式な取り扱い開始前に、新コインに相当する金銭をお客様に交付し、その後、かかる手続完了後、SBIVC での取り扱いを開始する可能性があります。

以上

取扱暗号資産の概要

本書は、SBIVC トレード株式会社（以下「SBIVC」といいます。）からお客様宛の「暗号資産預託取引に係るご注意」に関連して提供される書面です。同署面と併せてご確認ください。

ビットコイン

○　基礎情報

名称：	ビットコイン（Bitcoin）
売買市場の有無：	あり
財産が記録されている媒体：	ビットコインブロックチェーン
発行方法：	プルーフオブワークの仕組みにより最初にブロックを生成したマイナーとよばれる維持管理参加者に付与される形（報酬）で発行される。
認証方法：	SHA256 アルゴリズムに基づくプルーフオブワーク
発行者の有無：	なし

Satoshi Nakamoto と名乗る身元不詳の人物によって投稿された論文に基づき、2009 年に運用が開始された暗号資産です。中央で管理するサーバを持たず、ネットワーク上に散在する複数の有志のサーバ（ノード）間で取引を検証・承認する仕組みを利用しています。検証・承認された取引は「ブロックチェーン」と呼ばれる台帳に記録され、ノードで共有されます。

○　取引単位・交換制限

通貨単位：	bitcoin（BTC）（補助単位として、satoshi（=1 億分の 1bitcoin））

ビットコインの財布にあたる「ウォレット」から別のウォレットへ暗号資産を支払ったという情報をブロックチェーンに記録してもらうのに最短で 10 分程度、ブロックチェーンが全世界で共有さ

れて取引情報が確定と言える状況になるまで 1 時間程度かかります。しかし、実際の取引ではノード網での確定を待たずに当社が取引情報を預かる等の形で即時の決済を可能としています。

○　発行状況・流通状況

当社ウェブサイトにて、最新情報をご確認ください。

ビットコインは、およそ 10 分程度で解けるように自動的に調整される数学的な問題を解くこと（マイニングといいます。）でブロックチェーンへの記録権を得るとともに、マイニング報酬として一定のビットコインが発行されるという仕組みで発行されています。ブロックチェーンへの記録権を得てマイニング報酬を得ようと数学問題にチャレンジするノードのことを「マイナー（採掘者）」と呼びます。数学問題を速く解くのが記録権を得る条件のため、性能の良いコンピューター資源を準備できるマイナーほど記録権を得て、ビットコインをもらえる可能性が高くなります。また、近年の取引量の増加に伴い、早く取引を確定させるために、「取引をブロックチェーンに記録してくれることを条件にマイナーに報酬を払う」という条件付き（記録手数料付き）取引も増えています。

○　内在するリスク

a)	価値変動リスク	売り手と買い手の取引量及び提示価格によって価格が刻々と変化します。
b)	サイバー攻撃のリスク	2016 年に、香港取引所 bitfinex がハッキングを受け、取引所から約 12 万 BTC が流出した事例や、2014 年に取引所 Mt.GOX から約 75 万 BTC が流出した事例等があります。しかし、ほとんどが暗号資産に内在するリスクではなく、パスワード・鍵の管理不備や取引所のプログラムの脆弱性を攻撃されたものです。
c)	流動性リスク	注文が売り又は買いのどちらか一方に偏り、取引が成立しないリスクがあります。
d)	決済完了性がないリスク	ビットコインは、確定的に取引が成立したといえる仕組みがないことから、取引が遡って無効になるリスクがあります。
e)	ハードフォークによる分岐リスク	ハードフォーク（不可逆的な仕様変更）により暗号資産が 2 つに分岐し、相互に互換性がなくなるリスクがあります。その場

		合、大幅な価値下落や取引が遡って無効になるリスクがあります。また、ハードフォークの結果発生する新規コインを、諸般の事情によって、お客様に提供できない可能性があります。
f)	51%攻撃リスク	悪意ある者がハッシュレート（マイナーの計算力）全体の 51%以上を有した場合、不正な取引を意図的に配信するリスクがあります。

エックスアールピー

○　基礎情報

名称：	XRP（エックスアールピー）
売買市場の有無：	あり
財産が記録されている媒体：	XRP Ledger（旧称：Ripple Consensus Ledger, 2017 年 7 月改称）
発行方法：	2012 年のネットワーク発足時に 1,000 億 XRP 全て発行済み。
認証方法：	独自のコンセンサスアルゴリズム。信頼される認証済み法人バリデーター（検証者）の 80%以上の合意で取引を承認することで、ビットコイン等にくらべて高速な決済を実現している。
発行者の有無：	なし。あらかじめ作成されている。

XRP は金融機関の送金において法定通貨間のブリッジ通貨としてオンデマンドの流動性を提供するものとして設計された暗号資産です。これによって金融機関は従来よりも格段に流動性コストを下げつつも送金先のリーチをグローバルに広げることができるとされています。また、XRP は XRP Ledger 上での取引における取引料としての性格も有しています。ネットワークへの攻撃が起こった時には手数料が自動的に釣り上げられるため、攻撃が未然に防げる仕組みとなっています。XRP は 3～5 秒ごとにファイナリティをもって決済を行うことができ、1 秒につき 1,500 の取引を決済できるスケーラビリティを有する構造となっています。また、XRP には Reserve という仕組みがあり、基本 Reserve としてアドレス 1 つにつき最低 10XRP 以上の残高を保有する必要があります。また、所有者 Reserve としてアドレスに保有するアイテム 1 つにつき 2017 年現在、5XRP の追加の残高が必要となります。

○　取引単位・交換制限

通貨単位：	XRP（補助単位として、1drop（= 百万分の 1 XRP））

パブリックな台帳ネットワークを保持する動機がある、確認・証明済みの法人がバリデーター（検証者）になってネットワークを構成しています。そのうち、トップのバリデーター運用のパフォーマンスを示した複数のバリデーターのみが Unique Node List（UNL）という推奨リストに追加さ

れ、ネットワークのノードによって参照されます。そのため個々の記録者の信用は必要としない仕組みになっています。

○　発行状況・流通状況

当社ウェブサイトにて、最新情報をご確認ください。

2012 年に全て発行されており、今後の発行予定はありません。発行済の XRP の約 61%（2018 年 7 月時点）を Ripple 社が保有し、定期的に市場に流通させています。約 39%はすでに市場に流通しています。また、Ripple 社が保有する XRP を自己裁量で大量に売り払うのではないかという懸念を取り払うために、Ripple 社は 550 億の保有 XRP を 2017 年末までに暗号理論的に保証されたエスクローに預託することを 2017 年 5 月に発表しました。

○　内在するリスク

a)	価値変動リスク	売り手と買い手の取引量及び提示価格によって価格が刻々と変化します。
b)	サイバー攻撃のリスク	オープンソースで分散されたネットワークである XRP Ledger はサイバー攻撃のターゲットとなりえます。現在のところサイバー攻撃対策のためのコード改善努力の結果、コードベースの変更や XRP の消失を伴うようなサイバー攻撃は発生していません。
c)	流動性リスク	注文が売り又は買いのどちらか一方に偏り、取引が成立しないリスクがあります。
d)	バリデーターのリスク	信頼するバリデーターが意に反して結託した場合、台帳とデータは改ざんされる可能性があります。
e)	ソフトウェア不具合のリスク	ソフトウェアの不具合が問題を引き起こす可能性は否定できません。新しいバージョンがアップデートされる前に入念な QA を行っており不具合の可能性を最小化しています。XRP Ledger はこれまで一度もフォークなどの大きな問題は経験することなく台帳を更新しています。

ビットコインキャッシュ

○　基礎情報

名称：	ビットコインキャッシュ（BitcoinCASH）
売買市場の有無：	あり
財産が記録されている媒体：	ビットコインキャッシュブロックチェーン
発行方法：	プルーフオブワークの仕組みにより最初にブロックを生成したマイナーに付与される形（報酬）で発行される。
認証方法：	SHA256 アルゴリズムに基づくプルーフオブワーク
発行者の有無：	なし

Bitcoin から 2017 年 8 月に派生したアルトコインです。Bitcoin が世界中で取引されるようになると取引情報も大量な数の処理を求められるようになり、どのように大量の取引を処理するかが課題となりました。このとき、取引データを一部ブロック外に記録する等して小さくしようとした開発コミュニティとは意見を異にした人々が、ブロックサイズを大きくすることで問題を解決しようとしたのが BitcoinCASH です。そのため、2017 年 8 月 1 日の分岐時点に Bitcoin を持っていた人が、持っていた Bitcoin と同額の BitcoinCASH を手に入れることとなり、多くの暗号資産交換業者が、その付与に対応しました。

○　取引単位・交換制限

通貨単位：	BitcoinCASH（BCH 又は BCC）

財布にあたる「ウォレット」から別のウォレットへ暗号資産を支払ったという情報をブロックチェーンに記録してもらうのに最短で 10 分程度、ブロックチェーンが全世界で共有されて取引情報が確定と言える状況になるまで 1 時間程度かかります。しかし、実際の取引ではノード網での確定を待たずに取引所が取引情報を預かる等の形で即時の決済を可能としています。

○　発行状況・流通状況

当社ウェブサイトにて、最新情報をご確認ください。

ビットコインキャッシュは、発行に関する基本的な仕組みはビットコインと同一です。およそ 10 分程度で解けるように自動的に調整される数学的な問題を解くこと（マイニングといいます。）でブロックチェーンへの記録権を得るとともに、マイニング報酬として一定のビットコインキャッシュが発行されるという仕組みで発行されています。ブロックチェーンへの記録権を得てマイニング報酬を得ようと数学問題にチャレンジするノードのことを「マイナー（採掘者）」と呼ぶのもビットコインと同様です。

○　内在するリスク

a)	価値変動リスク	売り手と買い手の取引量及び提示価格によって価格が刻々と変化します。
b)	サイバー攻撃のリスク	BitcoinCASH は歴史が浅いこともあり、大規模な盗難事件等はまだありません。
c)	流動性リスク	注文が売り又は買いのどちらか一方に偏り、取引が成立しないリスクがあります。
d)	決済完了性がないリスク	ビットコインキャッシュは、確定的に取引が成立したといえる仕組みがないことから、取引が遡って無効になるリスクがあります。
e)	ハードフォークによる分岐リスク	ハードフォーク（不可逆的な仕様変更）により暗号資産が 2 つに分岐し、相互に互換性がなくなるリスクがあります。その場合、大幅な価値下落や取引が遡って無効になるリスクがあります。また、ハードフォークの結果発生する新規コインを、諸般の事情によって、お客様に提供できない可能性があります。
f)	51%攻撃リスク	悪意ある者がハッシュレート（マイナーの計算力）全体の 51%以上を有した場合、不正な取引を意図的に配信するリスクがあります。

イーサリアム

○　基礎情報

名称：	イーサリアム（Ethereum）
売買市場の有無：	あり
財産が記録されている媒体：	イーサリアムブロックチェーン
発行方法：	プルーフオブワークの仕組みにより、イーサリアムブロックチェーンの維持管理に参加するものが、ブロック生成に必要な、およそ 15 秒間で発見可能な難易度に調整され、かつ完全に確率的で計算コストの掛かる特定のナンス（nonce）を見つけ、イーサリアムネットワークに伝播することをもって、維持管理参加者が指定するアドレスに対してプロトコルから付与される。
認証方法：	コンセンサスアルゴリズムを用いたプルーフオブワーク（将来的にプルーフオブステイクへの移行の予定あり）
発行者の有無：	なし

イーサリアムはビットコイン同様にブロックチェーン技術を活用した暗号資産ですが、その特徴として、スマートコントラクトが挙げられます。イーサリアムにはエクスターナリー・オウンド・アカウント（EOA：Externally Owned Account）及びコントラクト・アカウント（CA：Contract Account）という 2 つの種類のアカウントを有し、通常の資金決済等は EOA にて、スマートコントラクトは CA により管理できるように設計されるなど、スマートコントラクトのプラットホームとしての機能が当該暗号資産の特徴となっています。

○　取引単位・交換制限

通貨単位：	Ether（ETH）

1 ブロックの処理時間を 15 秒程度とするように調整されている通貨である。ブロックチェーンネットワーク上で移転完了の目安の一つである対象トランザクションが 6 つのブロックに含まれるまでに必要となる時間は９０秒程度です。

○　発行状況・流通状況

当社ウェブサイト等により、最新情報をご確認ください。

○　内在するリスク

a)	価格変動リスク	売り手と買い手の取引量及び提示価格によって価格が刻々と変化します。
b)	サイバー攻撃のリスク	2016 年に Ethereum 上に構築されたスマートコントラクトである The DAO の脆弱性を突かれた当時の時価で 2 億円相当の ETH が不正流出した事例が存在します。
c)	流動性リスク	注文が売り又は買いのどちらか一方に偏り、取引が成立しないリスクがあります。
d)	決済完了がないリスク	イーサリアムは、確定的に取引が成立したといえる仕組みがないことから、取引が遡って無効になるリスクがあります。
e)	ハードフォークによる分岐リスク	ハードフォーク（不可逆的な仕様変更）により暗号資産が 2 つに分岐し、相互に互換性がなくなるリスクがあります。その場合、大幅な価値下落や取引が遡って無効になるリスクがあります。また、ハードフォークの結果発生する新規コインを、諸般の事情によって、お客様に提供できない可能性があります。
f)	51%攻撃リスク	悪意ある者がハッシュレート（マイナーの計算力）全体の 51%以上を有した場合、不正な取引を意図的に配信するリスクがあります。

以上